

専門科目講習会 実施要項

資格名		エアロビック上級指導員
養成目的		地域スポーツクラブやサークルにおいて、年齢・競技レベルに応じた実技指導にあたるとともに、スポーツ教室などの企画立案に参画できる指導者を養成する。
役割		年齢・競技レベルに応じて指導にあたるとともに、地域スポーツクラブ等が実施するスポーツ教室や各種イベントの事業計画の立案に参画する。また、エアロビック指導員の育成導にあたる。
受講条件		受講年度の4月1日現在満22歳以上で、地域スポーツクラブ等において中心的な役割を担っている者。またこれから中心的な役割を担う者で、かつ次のいずれかに該当する者 ①指導歴2年以上で技能検定3級程度の競技能力を有する者。 ②JAFが推薦する者(免除条件については別途定める)。
カリキュラム	共通科目	集合14h, その他56h 計70h
(詳細は別紙)	専門科目	集合20h, その他0h 計20h
専門科目 講習・試験の実施方法		<p>講習会実施方法</p> <p>カリキュラム(20時間)に基づき、JAFが直接集合講習会により開催する。実際の実施計画については、エアロビック指導員の養成状況を考慮し、JAFと日本体育協会とで相談の上、実施する。</p> <p>検定試験の作成および実施方法</p> <p>JAF普及指導委員会が作成・出題し、筆記試験、レポート評価、技能検定の総合評価とする。</p> <p>合格者の判定方法</p> <p>合格者の判定は筆記試験、レポート評価、技能検定の総合判定結果を基に、JAF普及指導委員会で審査の上、原則として満点の6割以上を合格とする。</p>
更新のための義務研修		<p>資格登録有効期限4年間のうちに、最低1回は、本会が定める研修または日本体育協会(都道府県体育協会が実施する研修会を含む)実施する(認める)研修を受けなければならない。</p> <p>また、JAFの個人賛助会員でなければならない。</p>
専門科目における 講習・試験の免除について		<p>技能検定3級以上の認定登録者は、「実技試験」を免除する。</p> <p>日本体育協会「公認スポーツ指導員制度」に基づきエアロビック指導者として資格認定された者は、「種目の特性に応じた基礎理論1」の講習・試験をすべて免除する。</p> <p>JAF認定資格者は、その資格に応じて講習・試験の一部を免除する。</p> <p>(1)JAF認定エアロビック準教師/エアロビック準指導員は、指導員の「種目の特性に応じた基礎理論1」「種目の特性に応じた基礎理論2」「実技」「指導実習」の講習・試験をすべて免除する。</p> <p>(2)JAF認定テクニカルアドバイザーは、「種目の特性に応じた基礎理論1」のすべての講習・試験、および「種目の特性に応じた基礎知識3」の一部を免除する。</p> <p>(1)国際大会等で特に優秀な成績を収めた者で、コーチとしての資質、能力が優れていると認められた者。</p> <p>(2)国外での資格取得者</p> <p>(3)在外研修者</p> <p>以上の者については、日本体育協会とJAF指導者育成委員会が内容・程度を審査の上、免除項目を決定する。</p>
登録料(4年間)	基本登録料	10,000円(初期登録料3,000円)
	団体登録料 または 資格別登録料	10,000円
担当委員会		JAF 普及指導委員会